

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月28日

計画の名称	災害に強い県土づくり～海岸における安全・安心の確保～（防災・安全）（重点）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	沖縄県												
計画の目標	<p>沖縄県は台風の常襲地帯であり、海岸は高潮、波浪等による被害を度々受けている。海岸保全施設の整備は進んでいるものの、老朽化が著しく防護機能が確保されていない箇所については、整備を促進する必要がある。</p> <p>一方、優れた自然景観を有する本県の海岸は、観光立県沖縄の重要な観光資源となっている。</p> <p>このため、防護が必要な海岸において所要の安全を確保するとともに、環境や利用にも配慮し、防護・環境・利用が調和した総合的な海岸整備を推進する。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	285	A	285	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	高潮・波浪、老朽化及び侵食に対する安全・安心の確保のため、想定浸水面積を9.0ha(H27)から5.6ha(H31)に減少させる。			
	想定浸水面積・・・高潮・波浪、老朽化、侵食等に対する防護機能が確保されていない海岸において、計画外力により浸水が想定される区域の面積	9ha	ha	6ha

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-001	海岸	沖縄	沖縄県	直接	沖縄県	老朽化	水国	伊佐海岸 海岸堤防等老朽化対策緊急事業	護岸L=109m	宜野湾市	■	■	■	■	■	173	策定済	
	A09-002	海岸	沖縄	沖縄県	直接	沖縄県	老朽化	水国	兼久海岸 海岸堤防等老朽化対策緊急事業	堤防L=37m	嘉手納町		■	■			83	策定済	
	A09-003	海岸	沖縄	沖縄県	直接	沖縄県	老朽化	水国	海岸保全施設長寿命化計画策定	護岸等の長寿命化計画策定	県内各市町村	■	■				29	—	
											小計						285		
											合計						285		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

沖縄県で海岸保全施設の整備状況を整理し事後評価を実施。

令和3年度

公表の方法

県のホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

伊佐海岸の海岸保全施設の整備を実施した結果、高潮・波浪時の越波等による浸水被害が減少し、防護が必要な海岸において所要の安全が確保された。  
なお、兼久海岸がH30より別計画（通常）へ移行したため、目標値を見直している。（6.1ha-0.5ha=5.6ha）

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

長寿命化計画を策定したことにより、健全度の把握やライフサイクルコストの縮減等を図ることができ、計画的な維持管理、老朽化対策が可能となったことから、優先度の高い箇所から計画的に対策を実施していく。



(参考図面)

